

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第1区分  
 【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公開番号】特開2017-176927(P2017-176927A)  
 【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-038  
 【出願番号】特願2016-64184(P2016-64184)  
 【国際特許分類】

**B 0 1 J 19/08 (2006.01)**  
**C 0 8 J 7/00 (2006.01)**  
**B 2 9 C 59/10 (2006.01)**  
 B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 19/08 C  
 C 0 8 J 7/00 3 0 3  
 C 0 8 J 7/00 C E R  
 C 0 8 J 7/00 C E Z  
 B 2 9 C 59/10  
 B 2 9 L 7:00

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年10月23日(2018.10.23)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 2  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 2】

従来から、放電を利用して樹脂製のフィルムの表面を改質する表面処理装置が知られている(特許文献1参照)。

図3に示す従来の表面処理装置は、接地された処理ローラ1の外周に沿って設けた処理チャンバ2とからなる。そして、上記処理ローラ1には処理対象となるフィルムFを接触させ、処理ローラ1の回転にともなってフィルムFが移動するようにしている。

また、上記処理チャンバ2は、金属製の一对の支持部3に樹脂製のカバー部4を連結して構成され、上記カバー部4の開口に処理ローラ1を臨ませている。このようなカバー部4を設けているのは、処理チャンバ2内で生成されるオゾンなどのガスを処理チャンバ2の外部に流出させないようにするためである。